

人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻

(1) スポーツプロモーションコース

1 必修専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK001	スポーツ・ヘルスプロモーション論概論	1	2.0	1・2	春AB	水7,8	講義室7	菊 幸一 高橋 義雄 尾縣 貢 山口 香 久野 譜也 柴田 愛 水上 勝義	スポーツとヘルスの相関的・相乗的な関係の基本理念とその哲学について、人間存在の生理的・心理的・社会的な特質との関係から概説する。また、現代社会における長寿化人生、ハイテク・情報化生活等の生活変容に注目しながら、人間存在の現代的課題を取り上げ、そこにおけるスポーツ文化享受による健康開発の可能性を環境世界、社会・文化生活、諸個人のライフスタイルやライフステージとの関係から概説し、エコロジーと共生を希求する21世紀世界におけるスポーツ・ヘルスプロモーションの相乗的な効果を上げるための政策課題について講義する。	
01EK002	スポーツ・ヘルスプロモーション方法論	1	1.0	1・2	春C	水7,8	講義室7	高橋 義雄 山口 香 久野 譜也 柴田 愛 渡部 厚一	スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な方法論について概説する。各自の研究計画の実現に向けて、研究デザインと科学的方法の客観性を担保する方法基礎論を理解し、文献や資料のオンライン検索の方法を学ぶ。また、社会調査法の一般的な手順を概説する。さらに、調査や実験データの分析法・検定法などの統計手法について、分析や検定結果の解釈法について文献を用いて理解したり、実際に統計解析ソフトを用いながら理解を深める。	
01EK003	スポーツ健康研究方法論I	2	1.0	2	春ABC秋A	随時		菊 幸一 高橋 義雄 尾縣 貢 山口 香 久野 譜也 柴田 愛 水上 勝義	スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究について担当教員の指導のもとに先行文献を参照しながら研究計画を立案し、研究テーマを設定し、研究テーマ届を提出する。	

2 選択専門科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK004	スポーツ健康研究方法論II	2	1.0	2	秋A	随時		菊 幸一 高橋 義雄 尾縣 貢 山口 香 久野 譜也 柴田 愛 水上 勝義	スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。そして、学位論文中間発表会に終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表を行う。	
01EK005	スポーツ健康研究方法論III	2	1.0	2	春A	随時		菊 幸一 高橋 義雄 尾縣 貢 山口 香 久野 譜也 柴田 愛 水上 勝義	スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。そして、学位論文中間発表会に終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表を行う。	9月末修了予定で、「01EK004」を未修得の者用

2-1-1 選択専門科目(スポーツプロモーション領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK101	スポーツプロモーション論特講	1	2.0	1・2	秋AB	木7,8	講義室7	菊 幸一	スポーツの社会的需要・供給関係を軸にした社会的構造・機能モデルに基づいて、現代社会におけるスポーツのポジティブ/ネガティブな作用を分析し、そこからスポーツプロモーションの基本理念を概説する。また、プロフェッショナルスポーツの成立と発展過程をも視野に入れつつ、文化としてのスポーツプロモーションのあり方について講ずる。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK112	スポーツプロモーション論演習1	1	1.0	1・2	秋ABC	随時		菊 幸一	秋学期に集中で開講し、国レベル、地域レベル、団体レベルのスポーツプロモーション政策の具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその政策課題を相互比較し、それぞれの特徴と課題を明らかにする。こうして養われるスポーツプロモーション政策形成の具体的分析力を基礎に、それぞれの学生の現職経験に基づくスポーツプロモーション問題を取り上げ、そこに作用する政治課題のベクトルと生活課題のベクトルをシミュレーションすることによって政策課題を明確にし、政策立案のモデル化について演習する。	
01EK113	スポーツプロモーション論演習2	2	2.0	1・2	春A 春B	集中 木7,8	演習室 4	菊 幸一	春学期に開講し、国レベル、地域レベル、団体レベルのスポーツプロモーション政策の具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその政策課題を相互比較し、それぞれの特徴と課題を明らかにする。こうして養われるスポーツプロモーション政策形成の具体的分析力を基礎に、それぞれの学生の現職経験に基づくスポーツプロモーション問題を取り上げ、そこに作用する政治課題のベクトルと生活課題のベクトルをシミュレーションすることによって政策課題を明確にし、政策立案のモデル化について演習する。	集中 4/20, 4/27
01EK105	スポーツプロモーション論実習	3	1.0	1・2	通年	随時		菊 幸一	学生の現職経験から導かれるスポーツプロモーション問題を、政策科学の視点から政策課題化し、それに基づく政策目標-政策対象-政策条件-政策計画のシミュレーションを行う。このシミュレーションモデルに基づき、政策展開に必要な環境的・物的・人的・文化的資源を査定し、当該政策実施における既存資源を評価し、過剰/不足資源を明確にする。さらに、明確化された不足資源の整備・開発を計画すると共に、政策展開の視点から見た有効資源のシステムをデザインし、具体的な政策モデルをシミュレーションする。	
01EK106	スポーツイベント論特講	1	2.0	1・2	春A	金7,8 集中	講義室 7	高橋 義雄	スポーツイベントの社会的需要・供給関係を軸にした社会的構造・機能モデルに基づいて、スポーツプロモーションにおけるスポーツイベントの理念と意義を概説する。これに基づいて、現代社会におけるスポーツイベントのポジティブ/ネガティブな地域形成作用を分析し、そこから現代社会におけるスポーツイベント政策の社会的役割を分析する。また、プロフェッショナルスポーツの発展過程を分析し、その社会及び地域形成に関わる意味と機能について概説する。	集中 5/11, 5/18
01EK114	スポーツイベント論演習1	2	1.0	1・2	春ABC	随時		高橋 義雄	春学期に集中で開講し、国際レベル、国レベル、地域レベルのスポーツイベントの具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその構造的・機能的特性を相互比較し、それぞれのスポーツ及び地域プロモーションに関する政策課題について演習する。また、プロフェッショナルスポーツの具体的事例から、スポーツイベントの展開過程における問題と課題について演習する。	
01EK115	スポーツイベント論演習2	2	2.0	1・2	秋AB	金7,8	演習室 4 11/8の み652	高橋 義雄	秋学期に開講し、国際レベル、国レベル、地域レベルのスポーツイベントの具体的事例を取り上げ、それぞれの歴史・社会・文化的背景との関係からその構造的・機能的特性を相互比較し、それぞれのスポーツ及び地域プロモーションに関する政策課題について演習する。また、プロフェッショナルスポーツの具体的事例から、スポーツイベントの展開過程における問題と課題について演習する。	
01EK110	スポーツイベント論実習	3	1.0	1・2	通年	随時		高橋 義雄	学生の現職経験から導かれるスポーツイベント問題を、スポーツプロモーションと地域形成の視点から政策課題化し、それに基づくスポーツイベント展開のマネジメントのシミュレーションを行う。このシミュレーションモデルに基づき、スポーツイベント編成に必要な諸エージェントと資源を査定し、当該イベント展開における関係エージェントと資源のシステム化をシミュレーションし、具体的なスポーツイベントの政策マネジメントモデルを企画・立案する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK116	スポーツプロモーション研究方法論Ⅳ	2	2.0	2	秋ABC	随時		菊 幸一 高橋 義雄	学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、政策科学的視点からその存立状況を構造的に分析することによって、専門研究にむけて課題化する。さらに明確化された専門課題解決の可能性と限界を明らかにし、問題解決に対応する専門研究の研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究報告書を作成する。	
01EK117	スポーツプロモーション研究方法論Ⅴ	2	2.0	2	春ABC	随時		菊 幸一 高橋 義雄	学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、政策科学的視点からその存立状況を構造的に分析することによって、専門研究にむけて課題化する。さらに明確化された専門課題解決の可能性と限界を明らかにし、問題解決に対応する専門研究の研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究報告書を作成する。	9月末修了予定者用

2-1-2 選択専門科目(スポーツマネジメント領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK201	スポーツマネジメント論特講	1	2.0	1・2	秋B	火7,8 集中	講義室 7	尾縣 貢	地域のスポーツクラブと学校の運動部の共存共栄がわが国のスポーツの更なる発展には求められている。マネジメントの面から、それぞれの活動における問題点を明確にし、今後、取り組むべき課題とそれらを解決するための具体的な取り組みについて概説する。また、ジュニアからシニアにいたるまでのコーチング・トレーニングのマネジメントについても講義する。	集中 11/16, 12/14
01EK212	スポーツマネジメント論演習1	2	1.0	1・2	秋ABC	随時		尾縣 貢	秋学期に集中で開講し、スポーツ基本法、スポーツ立国戦略、学習指導要領等からわが国のスポーツが進むべき方向を考えるとともに、実際の地域スポーツクラブおよび学校運動部の活動状況、そしてそこに内在する問題点を把握させ、それぞれが共存共栄し、スポーツ文化を形成する上での礎となるための方策についてスポーツマネジメントの観点から検討していく。	
01EK213	スポーツマネジメント論演習2	2	2.0	1・2	春AB	火7,8	435 ゼミ室 6/18の み演習 室9	尾縣 貢	春学期に開講し、スポーツ基本法、スポーツ立国戦略、学習指導要領等からわが国のスポーツが進むべき方向を考えるとともに、実際の地域スポーツクラブおよび学校運動部の活動状況、そしてそこに内在する問題点を把握させ、それぞれが共存共栄し、スポーツ文化を形成する上での礎となるための方策についてスポーツマネジメントの観点から検討していく。	
01EK205	スポーツマネジメント論実習	3	1.0	1・2	通年	随時		尾縣 貢	学生の現職経験や体験から導かれる地域のスポーツクラブと学校の運動部における具体的成功例や失敗例を分析することで、マネジメント上の問題点を明らかにし、解決すべき課題をあげる。そして、現職経験等から見た課題解決のために必要な方策を考案し、その方策の有用性に関して議論を繰り返すことで、包括的なマネジメント戦略を構築していく。	
01EK206	高度競技マネジメント論特講	1	2.0	1・2	春A 春B	木7,8 金7,8	講義室 7	山口 香	国際競技力開発に関する世界的状況を概括し、我が国における問題と課題を明らかにする。そして、国際競技力開発の仕組みを「発掘・育成・強化・支援」の各開発段階における物的・人的・文化的資源のシステム化として概説し、システム編成に必要な資源評価・査定・開発とそのシステムマネジメントの課題と方法論について講義する。	
01EK214	高度競技マネジメント論演習1	2	1.0	1・2	春ABC	随時		山口 香	春学期に集中で開講し、国際競技大会において競技者及びチームの最高パフォーマンスを発揮させるために必要なマネジメントの実践的な課題を、国際・国内スポーツ組織論、情報戦略論、競技パフォーマンス分析論、競技者及びチームマネジメント論、メディアマネジメント論、スポンサー対応論等の総合的戦略として理解させ、オリンピック競技大会やワールドカップ等の具体的事例に対応する国際競技スポーツマネジメントのシミュレーションを行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK215	高度競技マネジメント論演習2	2	2.0	1・2	秋AB	水7,8	435ゼミ室	山口 香	秋学期に開講し、国際競技大会において競技者及びチームの最高パフォーマンスを発揮させるために必要なマネジメントの実践的な課題を、国際・国内スポーツ組織論、情報戦略論、競技パフォーマンス分析論、競技者及びチームマネジメント論、メディアマネジメント論、スポンサー対応論等の総合的戦略として理解させ、オリンピック競技大会やワールドカップ等の具体的事例に対応する国際競技スポーツマネジメントのシミュレーションを行う。	
01EK210	高度競技マネジメント論実習	3	1.0	1・2	通年	随時		山口 香	学生の現職経験から導かれる国際競技大会における具体的な成功事例や失敗事例等を競技力開発と総合戦略の視点から捉え直し、そこにおける国際競技マネジメントの具体的な課題を明らかにする。そして、現職経験との関係から見た課題解決のために必要な資源評価・査定・開発及びシステム編成のモデルをデザインし、そのモデルと現職経験の比較検討を通して、具体的な課題解決に向けたマネジメント戦略をシミュレーションする。	
01EK216	スポーツマネジメント研究方法論Ⅳ	2	2.0	2	秋ABC	随時		尾縣 貢 山口 香	スポーツマネジメントに関する学生の実践的研究課題に対応しながら、実践的課題解決に向けた研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究の作成を導く。	
01EK217	スポーツマネジメント研究方法論Ⅴ	2	2.0	2	春ABC	随時		尾縣 貢 山口 香	スポーツマネジメントに関する学生の実践的研究課題に対応しながら、実践的課題解決に向けた研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験から得られる固有のデータを生かし、それを学術情報化することによって、修士論文・特定課題研究の作成を導く。	9月末修了予定者用

3-1 関連専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK301	コミュニティスポーツプロモーション論特講	1	1.0	1・2					我が国におけるコミュニティスポーツの歴史を概観し、地域社会におけるスポーツの社会的役割を概説する。特に政策的に推進されている総合型地域スポーツクラブを取り上げ、その展開過程や経営課題を概観する。また、総合型地域スポーツクラブを題材にしながら、公共スポーツ施設の整備と経営の考え方、指導者養成をめぐる制度的課題、ボランティア論、スポーツと市民社会論などについて講義する。	西暦偶数年度開講。
01EK302	スポーツプロモーション法制論特講	1	1.0	1・2					スポーツ関連法制について概観し、スポーツプロモーションに向けたスポーツ法制度の構造や諸課題を具体的な事例を通じて講義する。アマチュアスポーツやスポーツ行政だけでなくプロスポーツやスポーツの経済的活動に関する法制度も解説する。	西暦偶数年度開講。
01EK321	スポーツの倫理と教育	1	1.0	1・2	春C	集中	講義室7	深澤 浩洋 長谷川 悦示	我が国のスポーツプロモーションにおけるスポーツの倫理について、ルールやエトス、フェアプレイなどをめぐる講義する。また我が国のスポーツ教育政策の歴史を概観し、スポーツ教育の諸課題について講義する。	西暦奇数年度開講。 7/20, 7/27
01EK322	スポーツプロモーションとビジネス	1	1.0	1・2	秋C	木7,8	講義室7	仲澤 眞 嵯峨 寿	スポーツプロモーションの視点から、プロスポーツの運営やスポーツメーカーのブランディングの事例を取り上げ、スポーツビジネスの現状と課題について講義する。	西暦奇数年度開講。
01EK323	トップアスリートのトレーニング	1	1.0	1・2	秋C	金7,8	講義室7	白木 仁 河合 季信 榎本 靖士	トップアスリートの競技力向上のためのトレーニング及びバイオメカニクスを学ぶ。ジュニア期のトレーニング、年間計画、身体運動におけるバイオメカニクスの目的、活用などについて考える。この講義は前半をトレーニング論(6)、後半(4)をバイオメカニクス論とし、それぞれ別の先生が担当する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK324	トップコーチング	1	1.0	1・2	秋C	火7,8	講義室7	河合 季信 岡田 弘隆 谷川 聡 小井土 正亮 吹田 真士	オリンピックやアジア大会、ユニバーシアードなどの国際大会や、学生スポーツの頂点を争うインカレなどでアスリートが高いパフォーマンスを発揮することをめざしたコーチングの理論と実務を学ぶ。競技特性の視点、世界や国内の動向、チームやアスリートのマネジメントなど、さまざまな観点から、トップレベルのコーチに求められる役割や資質について考える。数名の教員によるオムニバス形式で担当する。	
01EK325	生涯スポーツのトータルマネジメント	1	1.0	1・2	春C	火7,8	119 講義室	坂本 昭裕 平山 素子 寺山 由美 本谷 聡 澤江 幸則	競技スポーツとは異なる目的、側面を持つ野外教育・スポーツ、舞踊、体操などの歴史や教育的側面を踏まえた最新のコーチングやマネジメントについて学ぶ。また、障害者スポーツについての現状と課題を検証し、理解を深める。数名の先生がリレー講義形式で担当する。	
01EK311	スポーツ健康科学論I	1	1.0	1・2	春秋ABC	集中			・スポーツ界、健康界の最前線で活躍する講師を迎え、スポーツと健康に関するトピックスを概観する。 ・スポーツや健康に関する高度専門職業人として現職を持つ修了生が、現場における問題の所在の究明や解決、および様々な実践に関して講義する。さらに、大学院本専攻で学び、研究したことがどのように活かされているのか、その方法論についても講義する。そして、研究した成果のさらなる進歩、今後の可能性について言及し、研究の視野を広げることを目指す。	開講未定
01EK312	スポーツ健康科学論III	1	0.5	1・2	春秋ABC	集中				開講未定
01EK313	スポーツ健康科学論V	1	1.0	1・2	春秋ABC	集中				開講未定
01EK314	スポーツ健康科学論VII	1	0.5	1・2	春秋ABC	集中				開講未定
01EK315	スポーツ健康科学論IX	1	1.0	1・2	春秋ABC	集中				開講未定